

狭山自治会
加藤会長様

最終報告書(最終版)

NPO サービスグラント
地域の課題解決プロボノ
狭山自治会チーム
2019 年 3 月 26 日
余部

2019 年 3 月 23 日の狭山自治会総会にて中間報告として報告させていただきましたが、追加でいただきました 25 通のアンケートを加え、最終集計を報告させていただきます。

一部欠損アンケートや白紙アンケート、レターもありましたが、総数で 536 通のアンケートを頂き集計させていただきました。総会でも申し上げさせていただきましたが、640 会員のなかで 80%を超える回答をいただき自治会員の皆様の自治会への関心の高さを感じました。また、積極的な意見を書かれている方も多数みられ、正直、都内の自治会が減少、低迷していく中で狭山は自治会へのニーズが高い地域であると感じました。

結びとして、良い狭山自治会と発展されますことを切にお祈りしております。また、今後もサービスグラントでサポートできることがあればさせていただきます。

以上、報告させていただきます。

プロボノワーカー：新井、北村、斎藤、室井、余部

1) アンケートに関する集計結果

- ・集計シート データー
- ・集計シート 意見・提案まとめ（追加分は、3 ページ目の 99 番以降です）

2) 各自治会のイベントやアンケート作業において当ワーカーから気づいた点や提案などを無記名で添付させていただきます。これは、あくまでも今後の改革への参考としていただければ幸いです。（前回、送付と同じものです）

今回、弊社チームにとりましても 貴重な経験となりました。また、活動全般で役員の皆様より多大なる サポートをいただきましたこと厚く御礼申し上げます。
有難うございました。

＜アンケート感想＞

- ・635 世帯のうち会員向けアンケートの回答が、511 通とこれほどの回収率になるアンケートはあまり聞いたことがありません。それだけ、自治会への皆さんへの関心が強いのではと感じました。特に、第 3 区は、各層の方が回答されており、当初聞いていました自治会への無関心さはないと思いました。
- ・一方で、役員には、仕事や高齢化で成り手が少ないこともアンケートからわかりました。ただ、順番であるのは仕方がないという意見も多数ありました。
- ・要望や意見のなかで、やはり、防犯・防災関係の情報の必要性、子供とお年寄りがふれあい、安全に暮らせるための自治会サポートを求めている意見が多かったと感じます。
- ・区割りについては、あまり自治会員の方に理解されていないのではとも思いました。

＜全般的な感想＞

- ・アンケートからあくまでも私見としてですが、各区で独自に動けるようにして、市や協議会への窓口として連合自治会とすることで、役員の方の負担を軽減していくことはできるのではと思います。
- ・また、防犯・防災そして高齢者の見守りは、市役所を巻き込んで、学校などと合同でやることで、参加人数も増やせば、おのずと会員数も減らないのではと感じました。今回のアンケート結果を市役所にぶつけてみてもよいかもしれません。
- ・できれば、情報発信としてWEBを利用したりするのもよいのではと思いますが、役員の方の負担になるようであれば逆効果になるとも思います。ただ、一回つくれば回覧板の軽減にもなりますし、イベント情報提供なども簡単になるとも思いますので、内部で検討される意味合いはあると思います。

<アンケート感想>

■Q4 入会動機

入会動機は、近所の人からが一番多く、知人・友人を含めると、半数近くを占めた。

入会動機はやはり住民の口コミによるところが大きく、今後会員数を増やすにはご近所との交流を広げることが必要と思われる。

■Q5 メリット

6割近くが自治会にメリットを感じていた。

■Q6～8 自治会活動への感想

1と3の合計で8割弱と、満足度は高いと思われる。

評価が高い理由は、①～④とまんべんなく分散していた。①～④すべてに○をする人も多かった。

要望面は、②地震・水害のときに対応しやすい関係づくり、お年寄りや子供が気楽に交流出来る企画をもっと増やしてほしい、が多かった。

■Q9 自治会の区割り

今まで役員を引き受けたことがない人の6割は無回答であり、あまり関心がなさそう。

役員を引き受けたことがある人も半数くらいは無回答に近く、よくわからないという意見も多かった。

但し、意見がある人たちだけを抜粋すると、3の「南北へ分割」への意見が6割近くだった。

□Q10～11 役員引き受け

役員を引き受けた人の7割弱は、今後も引き受けてもらえそう。

今まで役員を引き受けたことがない人の半数以上は、今後も引き受けてもらえない可能性がある。

引き受ける理由は、「順番なので」が多いが、過去に役員をやった人はAなど前向きな意見も多い。引き受けたくない理由は、健康上の理由・高齢なので、が最も多かった。

<全般的な感想>

自治会の高齢化は、狭山自治会だけでなく都市部でも起きている問題であり、日本の少子高齢化により避けることができない状況です。自治会はやはり高齢者が中心となって運営していく気概を持つ必要があるかもしれません。年齢は財産とも言いますし、自治会の活動をとおり、若い世代へ模範となるような姿や歳を重ねることのすばらしさが伝わることで、地域をより良くなればと思います。災害時の相互扶助について、高齢者は、救助する側よりも、救助される側になってしまう可能性が高いので、まずは「自分の身は自分で守る」を念頭に、自治会から防災意識の啓蒙活動を行えたらいいのではないかと思います。

また自治会の分割については、よく企業において30人を超えるとまとまりが悪くなると言われています。30人くらいまでの組織では、全員の顔と名前が一致したり、誰とでも1度は会話したことがあることが多かったりと、まとまった組織になりやすいのですが、それを超えるとどうしてもつながりが薄くなっていくそうです。1つの組織が30人くらいまで、というのを一種の基準とされてもいいかと思いました。

＜地域を盛り上げるための自治会での施策案＞

■ 回覧板で回す内容を工夫する

回覧版を、上記のようなコミュニケーションツールとして使い、防犯（最近だとアポ電強盗など）に関するニュースの情報共有、防災チェックリストなどで防災に対する日々の備えについての啓蒙活動を行ってみてはどうでしょうか。

■ 小さな地震での声がけ運動

大震災でなくても、震度 4 くらい（テレビでニュース速報が流れる or テレビ番組が中断されてニュースに切り替わるくらいのレベル）で、身体の危険がないものの、精神的に不安になる地震も多いこのごろです。地震発生時に、一人暮らしの高齢者を主な対象として、ちょっと訪問して会話すると、精神的に孤立せず、ほっと安心感を得られるのではないかと思います。

＜高齢者と子供のつながりを深められるようなイベント案＞

■ 小学校でやっているラジオ体操に高齢者も参加させてもらう

アンケートのコメントに「PTA と連携しての・・・」というのがありました。よく夏休みに小学生がやっている朝のラジオ体操がもしあれば、近所の高齢者も参加できないか打診してみたいかがでしょうか。高齢者の健康寿命を延ばすためにも、適度な運動は必要だと思います。ラジオ体操はよく練られて作られており、立てない人も、座ったままで体操ができるそうです。

■ ハロウィン関連のイベント

近年、ハロウィンは大きく盛り上がるイベントのひとつのようです。子育て世代は、子供を仮装させたいものの、近所に気軽にかけられるところがあればいいかと思いました。

＜高齢者どうしのつながりを深められるようなイベント案＞

・ 夏祭りにて盆踊りの開催

地元の夏祭りでも、盆踊りを実際踊っているのは、高齢者のかたが多く、そのなかでも美しく踊れているかたは素敵でした。夏祭りに向けて、皆で盆踊りを練習するという、ひとつの目標に向かって皆で努力する機会をもつことで、交流が深まるのではないかと思います。

・ ビンゴ会など

海外の映画を観ていると、よく高齢者の方々が集まって、1 日中ビンゴを楽しんでいるシーンがあります。海外では、ビンゴは日常的に老人や子供が楽しむ遊びのようです。身体の動きに制限があっても、誰でもできるビンゴを室内でゆったりお茶飲みながら気軽に楽しむ場があったらいいかと思いました。ビンゴでなくてもよくて、定期的に人が集まる何か口実があるといいかと思います。

＜アンケート感想＞

- ・ アンケートの回数数の多さにまず、驚きました。合計で 500 人以上の回答を得られたのは、狭山自治会活動に関する関心が高い人が多いことの証明だと思います。
- ・ 属性別で見ると、60~80 代以上の長年地域に定住されている方が多く、これらの方は自治会活動にメリットを感じ、役員の引き受けにも積極的な方が多かったです。一方、60 歳未満になるとメリットを感じる比率は減少し、役員の引き受けにも懸念を示す方も 60 歳以上と比較すると増えているため、今後の自治会活動の継続には、若い世代にいかに関心を持って自治会活動の意義を伝えていくかが重要と改めてわかりました。
- ・ 若い世代の中心に自治会活動に消極的な理由として、意見と要望を拝見すると、自治会の目的や活動内容・負荷がわからず、仕事と並行としての活動に不安を抱えている方が多いように見受けられました。

＜全般的な感想＞

3 役の方々を中心に、積極的な姿勢で自治会活動に関わられている姿に感銘を受けました。土着の人ではない、新しい入居者の方々が増える中、歩こうの会などの活動を通して、地域文化・名所を伝えていくことの意義はとても大きいと思います。私自身、自治会活動に参加するのは初めてでしたが、狭山自治会のように地域の課題・将来の絵姿を考える自治会が増えていくことが、今後の日本の地域にとっては重要だと感じました。今後も活動を陰ながら、応援させていただきます。

今回のアンケートを通し、60 代以上の方を中心に多くの方は自治会活動にメリットを感じ、活動内容に関しても評価されている方が多いことが判明したと思います。

今後は 60 代未満の自治会員・非自治会の方に自治会活動の目的・内容を知ってもらう、草の根活動(ワークショップや facebook など使いやすい IT ツールを利用した活動内容の報告)を行うことが一つの方向性としては考えられると思います。

<アンケート感想>

- ① Q9 の回答率が低かったのは、自治会エリアの地図がわかりづらかったこともあると思います。
1～7 区の区割りを表す地図を大きいサイズでカラー印刷して回覧板に貼るなどして常に住民に周知してもいいかなと思いました。

その地図に災害避難所(学校、神社、公園)や行事の開催場所等も合わせて表記できるかと思います。

また要望であった住民としてのマナーについても注意を促す文書を回覧してもいいかと思いました。

- ② Q11 の役員を引き受けない理由として、仕事・子育て・高齢・介護という回答が目立ちました。
定年退職者以外の住民は多忙のため時間が無い人がほとんどだと思います。

自治会役員の1つの職務に対して複数人のグループとして担当させるのはどうかと思います。

- ・ママ友や主婦のネットワークを活かすことのメリット
- ・行事の日時を発信する際 SNS を使える
- ・学校や PTA などの繋がりから入会者数を増やせる
- ・学校・PTA⇄町会のコラボイベントなども実現しやすくなる(防災訓練など)
- ・1人で役員をするよりも世代が違うスタッフや居住暦の長い住民にも意見を言いやすくなる
- ・役員はできないけれど時間がある時は手伝う人も出てくるかもしれない

<全般的な感想>

要望として単発で気軽に参加できるワークショップを開催して欲しいとありました。子供は考える力を養い、シニア層は頭のトレーニングになると思います。世代間交流、新旧住民の交流ができることに意味があるので、テーマは何でもいいと思います。

地震・水害時の対応についての勉強会もできるかと思います。

高齢者のためのコミュニティタクシー、夏祭りの開催時期が被らないよう日時調整すること、公園が少ない問題なども含めて、今回のアンケート結果と共に東大和市役所のスタッフにも届いて改善されることを願っています。23 区内の公園では芝生が見えないくらい多くのテントが設置され終日休日を楽しむ家族で埋め尽くされている公園もあります。

特に餅つき会などの行事の時公園があればと強く思いました。

プロボノ当初アンケートの返送は少ないかと思っていました。515 通／600 世帯と考えると返送数が多くて安心しました。特にQ8 の自治会に望むリクエスト内容がはっきりわかったので今後の活動に活かせればと思います。

今まで自分が考えたことのない意見も多数あったのでとても参考になりました。

東京都内でも高齢者が増え町会運営が苦しくなっている地域に関われたことで多くの発見がありました。

今回の狭山自治会プロジェクトに参加できたことに感謝します。